

令和6年度 学校運営協議会拡大協議会 議事録

1 挨拶

代表して、山本信一さんと鈴峰中学校長からあいさつ

2 これまでの経過

- ・ H30. 2. 2 鈴峰中学校CS連絡協議会準備会（教育支援課CS研修会） 鈴鹿市役所
- ・ H30. 6. 23 第1回連絡協議会（鈴峰中学校ブロックPTA連絡協議会①） 椿会館
- ・ H31. 1. 19 第2回連絡協議会（鈴峰中学校ブロックPTA連絡協議会②） 椿小学校
- ・ R1. 6. 22 第3回連絡協議会（鈴峰中学校ブロックPTA連絡協議会①） 椿会館
- ・ R2. 1. 18 第4回連絡協議会（鈴峰中学校ブロックPTA連絡協議会②） 深伊沢小学校
- ・ R2. 11. 26 第1回拡大協議会（委員長・地域Co・校長・PTA会長） 鈴峰中学校
- ・ R3. 12. 6 第2回拡大協議会（鈴峰中学校区学校運営協議会委員） 鈴峰中学校
- ・ R4. 11. 28 第3回拡大協議会（鈴峰中学校区学校運営協議会委員） 鈴峰中学校
- ・ R5. 11. 28 第4回拡大協議会（鈴峰中学校区学校運営協議会委員） 鈴峰中学校

3 これまでの活動

- ・ 各校の現状と課題（情報共有）
- ・ 地域で育てたい子ども像⇒目標・キャッチフレーズの策定
- ・ 学校祭・各地区まつりの交流・還流

4 講演 『これからの部活動について』

講師：鈴鹿市教育委員会事務局教育指導課

井上 久 先生

5 分科会

◆テーマ別のグループ協議及び報告

① 学校行事（運動会、学校祭、修学旅行、社会見学等） 進行：深伊沢小校長

【協議内容】

- ・ 庄内地区では、地域づくり協議会を中心に「祭り」をおこなっている。学校側からは有志の合唱等で参加している。学校では、学習発表会を行い、地域の方に来ていただくことで交流を図っている。
- ・ 椿小では、「椿ワールド」というイベントで英語の劇を行っている。
- ・ 深伊沢小では、「FCE」というイベントを行っており、今年はスポーツをテーマに、「ボッチャ」や「サッカー」などを行った。
- ・ 課題は、修学旅行や社会見学の実施について、単級校のみでは経費が高くなる。複数校が合同で取り組むことが実現すれば経費が安くなり、連携にもつながると考えている。

② 部活動 進行：鈴峰中校長

【協議内容】

- ・最初に自己紹介を行い、それぞれの部活動に対する意見を出し合った。
- ・講師の先生にも入っていただき、部活動についての質疑を行った。
- ・令和8年4月には休日の部活動についての具体的なイメージが示される予定である。
- ・小学校の先生からは、これからの子どもたちは自分自身で選択する力をつける必要があるという意見をいただいた。

③ P T A活動・環境整備 進行：椿小校長

- ・この地域の特性として、樹木が大量にあり、環境整備が大きな課題である。
- ・各校、奉仕作業を年1回または2回行っているところが多い。
- ・環境整備への負担が、年々大きくなっている。
- ・子どもの数が少なくなれば、P T Aの数も少なくなり、ボランティアさんの力が必要となってくる。
- ・中学校では、部活動において「草抜き」を積極的に行っている。
- ・今後も、学校環境整備へのご協力をお願いします。

④ 安全安心（交通安全・防災） 進行：庄内小校長

- ・中学生、特に男の子がしっかり挨拶をしてくれることがすばらしい。
- ・今年度、校区内で大きな交通事故があった。命は助かったが、今一度、交差点での一旦停止などの安全確認など、指導を徹底することが大切である。
- ・校区に農道が多く、危機感が薄れている子どもたちに対して、「命を守る」という意識で、ヘルメット着用を再度指導することが大切である。
- ・飛び出しは絶対にいけない。危機感を伝えていくことが大切。
- ・地域の方も、登下校であいさつ運動・交通指導にご協力いただいているので、今後も様々なご意見を頂きたい。

⑤ 地域づくり協議会との連携・協働 進行：鈴西小校長

- ・学校と地域づくり協議会との連携や協働は大切にしていける必要がある。
- ・取組や行事を行うときに横の連携（地域づくり協議会間など）が難しい面がある。庄内地区のように行政区や地域づくり協議会、学校が一つのところは連携や協働がしやすいが、地域によって状況は異なっている。
- ・基調提案で部活動のお話があったが、今後、部活動以外の部分で、特別な支援事業を進めていくことも考えていく必要がある。